

○議長 小田 武人君

3 番、今田議員の一般質問を許します。今田議員。

○議員 3 番 今田 勝正君

3 番、今田です。一般質問は初めてなので、よろしくお願いします。

では、一般質問の通告書からいかせていただきます。2 件、質問します。

その 1、芦屋町の財政運営について。芦屋町は、今後、人口が減少していく中、税収入の伸びは見込めず、厳しい財政運営が求められると思う。ここで次の点を尋ねる。

（1）町の財政運営、財政力指数 0.3 の課題は何と考えているかお願いします。

○議長 小田 武人君

執行部の答弁を求めます。財政課長。

○財政課長 藤崎 隆好君

それでは、町の財政運営における課題についてお答えいたします。

平成 26 年度決算に基づく数値となりますが、芦屋町における税収の割合は、収入全体の 16% に当たりまして、近隣の市町村に比べて低い割合となっております。このため、不足する財源は、地方交付税によって賄っておりますので、地方交付税に依存している割合は近隣の自治体よりも高いという状況となっております。

御指摘の財政力指数についてですけれども、これは地方交付税を算定する際に使用します基準財政収入額を基準財政需要額で割った 3 年平均の数値になります。これは、税収の大きさを表す一つの指標であるわけですが、芦屋町は 0.37 ということで、比較的低い数値になっております。先ほど申しました税収の割合が低いということを示しておるものでございます。御指摘の人口減少の問題につきましては、全国のほとんどの自治体における課題であろうかと思いますが、芦屋町においても人口の減少に伴い、税収の減少が見込まれますので、人口減少については重要な課題の一つであるというふうに考えております。

税収が少ない芦屋町ではありますが、これを補う独自財源として競艇事業収益があります。競艇事業会計からの繰り入れにつきましては、平成 10 年度ごろまでは毎年 10 億円を超える繰り入れがあってございましたが、その後、売上減少とともに繰り入れも減少し、一時は全くない時期が続いておりましたものの、その後の経営努力によりまして、再び現在、繰り入れできるようになっておることはもう皆さん御承知のとおりだろうと思います。

今年度につきましては、4 億円の繰り入れを行うこととしており、このうち 2 億円は、町単独で実施している事業の財源として活用しております。残りの 2 億につきましては、将来の財源不足に備え、競艇収益まちづくり基金として積み立てているところです。

また、課題の一つとしまして、高齢化の進展に伴って増加が見込まれます扶助費の問題があり

平成 28 年第 1 回定例会（今田勝正議員一般質問）

ます。医療費の増加に伴います国民健康保険会計への繰り出しを初め、後期高齢者医療、介護保険に係る負担金等の増加などが今後も見込まれております。この問題についても、全国的な課題であろうかと思いますが、国は、税と社会保障の一体改革として、消費税の増税によりこの財源の確保を図っております。この財源の一部が地方消費税交付金として 1 億円ほど交付される見込みではありますが、これで全てが賄えるというわけではありません。このため、高齢化に伴う扶助費の推移については、今後とも注視していく必要があります。

また、投資的事業におきまして、現在、多くの事業の財源として、過疎対策事業債を活用しております。この起債は、元利償還金の 70% が地方交付税に加算されますので、実質的には 3 割の自主財源で事業を行うことができるという大変有利な起債となっております。しかし、この過疎債の法的な根拠となります過疎対策特別措置法が、平成 32 年度までの時限立法となっております。その後につきましては、現在のところ明確にはなっておりませんが、状況によっては、将来における投資的事業に影響が出てくるおそれがあります。このような場合に備え、先ほど申しました競艇収益まちづくり基金などへ積み立てを行っていく必要があるというふうに考えております。

以上です。

○議長 小田 武人君

今田議員。

○議員 3 番 今田 勝正君

数字の件はですね、わかったんですけど、これが 32 町村のあれで、平均が 0.46 ですよ。芦屋町が 0.37、この 0.1 ぐらい違いますよね。低いということで。その辺の見通しというんですかね、そういうところを質問します。わかりますかね。

○議長 小田 武人君

財政課長。

○財政課長 藤崎 隆好君

先ほど御説明しましたように、財政力指数については、基準財政収入額を基準財政需要額で割ったものということで、税収全体がふえないとこの数値というのは上がっていかないということになりますので、現在の人口規模では、なかなかこれを他町と比較して平均ぐらいに上げるというのはなかなか難しいものだというふうに考えております。

以上です。

○議長 小田 武人君

今田議員。

○議員 3 番 今田 勝正君

ありがとうございました。

次、（２）退職手当債の繰上償還を行うが、この実施によって実質公債費比率 12.5 になっていますけど、この辺の、これですね、32 町村中、平均が 8.1、芦屋が 12.5、32 町村中の 4 番目なんですよ、この辺はどういうふうにするかを質問します。

○議長 小田 武人君

財政課長。

○財政課長 藤崎 隆好君

それでは、退職手当債の繰上償還によつての財政運営上の支障ということについてお答えいたします。退職手当債につきましては、平成 19 年度から 22 年度にかけて退職された、いわゆる団塊の世代の退職手当の財源として借入れを行ったものですけれども、平成 26 年度末における退職手当債の起債残高は、6 億 9,000 万円ほどとなっております。また、起債の償還額につきましては、年間で 1 億 6,000 万円ほどとなっておりますが、この退職手当債は地方交付税の交付税措置がありませんので、全額を一般財源で対応しなければなりません。この結果、御指摘の実質公債費比率やあるいは経常収支比率などといった財政指標を悪化させる要因となっております。このため、積み立てておりました減債基金を取り崩して、繰り上げの償還を行うこととしたもので、償還額としては、5 億 4,000 万円ほどとなっております。

この繰上償還を行う影響につきましては、起債残高において、交付税措置のない借入金ですね、これが 5 億 4,000 万ほど減少することはもとより、毎年の起債の償還において、退職手当債の償還分 1 億 6,000 万円ほどが減少するということとなります。この結果、今後支払う予定でありました利息の 1,500 万円ほどを削減することができ、あわせて財政指標の数値が改善されることを見込んでおります。

御指摘の実質公債費比率につきましては、その年に支払う元利償還金のうち交付税措置額を除いたもの、実質的な借金の返済額ということになるかと思いますが、それを標準財政規模で割った数値で、3 年平均の数値となっております。26 年度の芦屋町の実質公債費比率は 12.5% となっておりますが、今回の繰上償還を行うことによつてこの数値が 5.4 ポイントほどの改善が見込まれております。これは 3 年平均の数値ということになりますので、実際にこの数値があらわれるのが 3 年後がめどということになるかとは思いますが、また、経常収支比率におきましても、26 年度決算においては 96.9% となっておりますが、この数値も 4.3 ポイントほどの改善を見込んでおります。

なお、基金残高におきましては、今回の繰上償還が減債基金の積立金を財源としておりますので、5 億 6,000 万円ほど減少して、今年度末の残高としては、43 億 3,000 万円程度になる見込みです。しかしながら、今回の繰上償還を行うために、25 年度から競艇事業収入を財

平成 28 年第 1 回定例会（今田勝正議員一般質問）

源としまして、計画的に積み立てていたものを今回取り崩すものですので、積み立てを始める前の平成 24 年度程度の残高水準に戻ったというものになります。

このように、今回の繰上償還の実施によって、より柔軟な財政運営が行えるようになるということはありますが、特段、支障が生じるということはないというふうに考えております。

以上です。

○議長 小田 武人君

今田議員。

○議員 3 番 今田 勝正君

実質公債費比率ですけど、これは 18% になったらだめだということを聞いているんですけど、その辺、とりあえず 5.4% 下げるということになってはいますが、この辺はどうなっているのか。18% ですよ。だめだと言われているのに、これでいって 5.4% やったら約 7% になるんですかね。その辺をお願いします。

○議長 小田 武人君

財政課長。

○財政課長 藤崎 隆好君

実質公債費比率につきましては、一つの危険領域と言いますか、の目安として 18% 程度のところがあるわけですが、現在のところ 12.5% であり、それがさらに下がっていくということになりますので、問題ないというふうに考えております。

以上です。

○議長 小田 武人君

今田議員。

○議員 3 番 今田 勝正君

どうもありがとうございました。

次、2、新病院建設事業についてお尋ねします。新病院の建設については、間もなく実施設計が完成するとのことですが、その内容についてお尋ねします。

1、進捗状況はどのようになっているのかをお願いします。

○議長 小田 武人君

都市整備課長。

○都市整備課長 松浦 敏幸君

お答えいたします。

新病院のですね、建設工事設計業務委託につきましては、平成 26 年 6 月にですね、基本設計と実施設計の契約をあわせてですね、締結しております。また、基本設計につきましては、平成

平成 28 年第 1 回定例会（今田勝正議員一般質問）

27 年 7 月に完了し、同年 8 月 27 日の議会全員協議会におきまして説明を行っております。

実施設計につきましては、基本設計に基づきまして、設計業者と病院関係者、それと、並びに  
です、都市整備課におきまして綿密な協議を行い、図面の詳細設計やその他資料作成など全体  
のですね、約 80%程度完了しているところでございます。今後は、3 月末までの実施設計の納  
品に向けまして、継続作業とあわせまして、積算業務を行い、建設費をですね、算出している状  
況でございます。

以上でございます。

○議長 小田 武人君

今田議員。

○議員 3 番 今田 勝正君

今、外周道路の工事をやっていますけども、これは 1 区、2 区、3 区、4 区と区画して工事を  
されていると思うんですけども、その中でこれが今言われたように、そのあれに入っているんで  
すかね。

○議長 小田 武人君

都市整備課長。

○都市整備課長 松浦 敏幸君

先ほどの質問ですが、今の基本設計と実施設計はですね、建築に関してのみの設計でございま  
す。だから、先ほど申しました外周道路工事にはですね、含まれておりません。

以上でございます。

○議長 小田 武人君

今田議員。

○議員 3 番 今田 勝正君

その中で、次に行きます。

2 番、財政の見通しはどのようになっているのかをお願いします。

○議長 小田 武人君

財政課長。

○財政課長 藤崎 隆好君

それでは、新病院建設に伴います財源について御説明いたします。

新病院の建設事業費につきましては、総事業費が 5 億 2 千 4 百 0 0 万円を予定しております、  
そのうち病院の建設自体に要する費用が 4 億 5 千 2 百 0 0 万円。これに伴います医療機器の整備、  
移転費用として 2 億 8 千 0 0 0 万円。また、主に町の事業として実施しております周辺道路の整  
備事業が 4 億 4 千 0 0 0 万円というふうになっております。その財源につきましては、起債の借

平成 28 年第 1 回定例会（今田勝正議員一般質問）

り入れが主なものとなっておりますが、内訳としまして病院事業債、これが 23 億 3,000 万円、過疎債で 26 億 4,000 万円となっております、残りが病院資金 1 億 8,000 万円、町の資金が 6,000 万円、国の補助金が 3,000 万円とこういう内訳になっております。

以上です。

○議長 小田 武人君

今田議員。

○議員 3 番 今田 勝正君

その中で結局、29 年度からおそらく着工になろうかと思えますけども、その中で現在オリンピックの建設が始まっていると思うんですけども、その材料費うんぬんくんぬんがあると思うんですけども、その辺のあれは考えられておられますかね。

○議長 小田 武人君

都市整備課長。

○都市整備課長 松浦 敏幸君

材料費とですね、労務費の高騰につきましては、今後ですね、国が改正をやるというふうになると、その辺はですね、今後積算業務の中でですね、入れないといけないという考えはあります。だから国の動向を見ながらですね、その辺は検討していかなくてはいけないと思います。

以上でございます。

○議長 小田 武人君

今田議員。

○議員 3 番 今田 勝正君

その中、予算を入れておるんですか。材料費が上がるとかそういう、そのもろもろの、何と云うんですかね。労務費とかいろいろかかってきますよね。今考えておるよりも恐らくお金がかかると思うんですよ。と思います。それでその予算というのは、この中に入っているんですかね。

○議長 小田 武人君

都市整備課長。

○都市整備課長 松浦 敏幸君

先ほど申しましたようにですね、実施設計をですね、今の段階で 80%しか進捗しておりません。その中でですね、今後ですね、積算業務を行いますので、国の労務単価、資材が上がればですね、この辺はですね、今後ですね、その建設工事費のですね、積算積み上げですね、影響するとは思われます。ただですね、それを今後また、その辺の傾向がないとまた、今の状況ではわかりませんので、今後その辺は検討したいと思います。

以上でございます。

平成 28 年第 1 回定例会（今田勝正議員一般質問）

○議長 小田 武人君

今田議員。

○議員 3 番 今田 勝正君

はい、わかりました。

次、3 番、住民説明会を開催するとのことですが、その内容はどのようになっているか。お願いいたします。

○議長 小田 武人君

企画政策課長。

○企画政策課長 柴田 敬三君

住民説明会につきましては、実施設計完了後に収支のシミュレーションを最新のデータをもとに再度作成し直します。その後、議会に報告させていただきまして、6 月ごろには開催したいと考えております。

内容につきましては、新病院の施設の概要や新たに実施予定の緩和ケア病棟や外来化学療法などのほか、総事業費に対する財源内訳や国、町、それから病院の負担割合、今後の病院経営の財務シミュレーションなどを説明する予定でございます。

以上です。

○議長 小田 武人君

今田議員。

○議員 3 番 今田 勝正君

去年やったですかね、住民説明会をされたんですよね。一昨年やったでしょうか、去年やったでしょうか。そのときに、芦屋町でしたとか、山鹿と 3 カ所で住民説明会されたと思っとなんですけど、6 月はそれでいくんですかね、会場。

○議長 小田 武人君

企画政策課長。

○企画政策課長 柴田 敬三君

一応、24 年度の基本計画策定のときにですね、校区別で 3 カ所行っております。それと、25 年の 9 月から 12 月にかけてですが、各自治区を回ってやったという経緯がありますが、これは病院の建てかえのスタートということで、計画の内容を住民の皆様にご理解いただくために全地区を回らせていただいたという経緯がありますので、今回はその後の経過報告、それから先ほど言いました財源内訳、工事関係の負担割合、収支のシミュレーションの報告ということで、校区別 3 カ所で予定しております。

以上です。

○議長 小田 武人君

今田議員。

○議員 3 番 今田 勝正君

最後になりますけども、新病院建設にかかわる多額な借金ですね、返済期間は 30 年と聞いています。その 30 年はもう自分たちはいないけど、孫とか、孫の世代ですね、世話することになると思うんですよ。そこで近隣の周辺には大きな病院が多く、芦屋町はこの規模を縮小する気持ちは、見直しですか。抜本的な見直しはあるかどうかをお尋ねします。

○議長 小田 武人君

副町長。

○副町長 鶴原 洋一君

これまで住民説明会でもいろいろなところで御説明をしてきております。今、現段階ではですね、現病院が 1 万 2, 800 平米の規模でございます。それを 1 万 2, 000 平米まで縮小した中で事業を推進するような形で考えております。また、財政的にもですね、有利な起債を使ってやろうかと思っておりますので、その範囲内でできるようにまとめてまいりたいと考えております。

以上でございます。

○議長 小田 武人君

今田議員。

○議員 3 番 今田 勝正君

これは、町長にちょっと言いますけども、住民投票はされる予定はありますか。

○議長 小田 武人君

町長。

○町長 波多野 茂丸君

住民投票ですか。何の住民投票ですか。（発言する者あり）もう、これ、事業は走り出して周辺の外周道路、そのための外周道路をやっているということで、このことを住民投票するかしないかということは、ちょっとできないのではないのかと思っております。

まず、当初であればですね、やるかやらないか。病院を今の病院をどうするか。ということの住民投票という形の中であれば、議員の質問は理解できるんですけど。当初、何度もお話したように、まず芦屋町、病院が必要かどうかということアンケートとらせていただいたら、八十、九十%近くの方が必要であるという御回答をいただいておりますね。それと、この小さい町ではありますが、ベッド数が 137 床、これを維持していただきたいと。今からお年寄りもふえますという形の中で、さっきの副町長が答えた質問にも関連しますが、予算にも関連すると思ひ

平成 28 年第 1 回定例会（今田勝正議員一般質問）

ますが、予算をじゃあ減らすかと。今から実施設計ができて、課長もるる説明しましたように、その当時、説明会するにしても、じゃあどのくらいの金額がかかるかという形の中のシミレーションして、五十何億ですかね、という金額が出てきたわけですね。だから、その当時ともう二、三年経過しているわけですよ。いろいろな世の中の状況というのは議員も御存知だと思うわけですが、人件費も上がり、材料費も高騰しということですね、そういうだから、どのくらいの積算ができるかというのは、まだ今やっている最中ですので、いろいろな鋭意工夫をしておると思いますが、ただ、このベッド数を、じゃあベッド数を 137 から 100 にすればいいじゃないかと。じゃあ、金額は減るでしょというような単純なものではないわけでありまして、137 床をなんとか死守した中での鋭意工夫をした形に持っていかなければならないと思っております。

当初の住民投票をやるか、やらないかというのは、ちょっと何と言ったらいいのかな、ちょっと無理でしょということでございます。

以上でございます。

○議長 小田 武人君

今田議員。

○議員 3 番 今田 勝正君

いろいろと質問しましたが、これで終わります。ありがとうございました。

○議長 小田 武人君

以上で、今田議員の一般質問は終わりました。